

飲食店における生産性とサービス向上、販路拡大を目指した設備計画

担当者コメント

新たな取組にとっても意欲的な事業所さんです。
今後も継続して支援していくのが楽しみです。

益城町商工会 鈴木 寛明

事業者名：担々麺とサラダの店 らんてん

業種：飲食業



お店の外観

支援テーマ

	創業
	経営革新
	地域資源活用・新連携
	農商工連携・6次産業
○	販路拡大・販路支援
	海外展開・海外販路開拓
	事業再生・再チャレンジ
	事業承継
	ものづくり
	雇用・労務関係
	資金繰り
	持続化補助金
	その他

支援前の課題

【企業概要】

平成26年、益城町で女性をターゲットとした町中華の店「ナチュラル中華 藍・天」として開業。しかし平成28年、熊本地震で被災し休業を迫られる。また、県道高森線の4車線化道路拡幅工事の影響により移転を余儀なくされ、現在は熊本市東区花立で営業を再開している。お店のモットーは、おいしい・ていねい・気軽。「身体にやさしく美味しい中華料理を気軽に手軽に」をコンセプトに担々麺などの中華そばを主力とした料理を提供している。

(創業) →平成26年

(代表者の年齢) →48歳

(現状分析)・強み→四川系中華料理店で20年修業したオーナーシェフがいる。ミシュランガイド熊本・大分特別版に掲載された実績あり。(高い技術力)

- ・弱み→人材不足。原材料価格の高騰。料理提供に時間がかかる。
- ・機会→住宅街に隣接。テイクアウトの需要増
- ・売れ筋商品・顧客ニーズの把握→リピート率は8割を超える。
- ・競合する店舗等→半径2km圏内に同業他社が20店舗ある。

【支援課題・支援計画】

(支援課題) →売上拡大及び利益率の改善

(短期計画) →機械化導入に合わせた新メニューの開発

(中長期計画) →生産性とサービスの向上

支援内容

フェーズ1 くまもと型小規模事業者業補助金申請支援

これまで調理師の負担により中止していたメニューを、新たに中華自動調理器を導入して復活させることで売上拡大を図り、またショックフリーザーの導入で新たに冷凍食品の開発、販売を行っていきたいとの考えからくまもと型小規模事業者経営発展支援補助金の活用を提案して申請支援することとなった。補助金申請は初めてのことだったが当初から計画が明瞭で修正の対応も早く、現状分析、課題の抽出などブラッシュアップを行いながら計画書策定を進めてきた。また、適宜専門家による指導も仰ぎながら併せて申請に必須である経営力向上計画の認定取得、経営支援プログラムの締結を行い、無事に採択まで繋げることができた。

フェーズ2 新商品開発支援

店舗で提供している商品を冷凍化して販売を行いたいという相談があったことから、上益城地区商工会広域連携共同事業提案型重点支援の一環で(株)ウィッシュボーンの吉田専門家を招聘し新商品開発について検討を行った。代表者は店で提供しているメニュー全てを冷凍商品にして販売を検討していたので現在主力商品である担々麺に絞って検討するよう内容量、価格、調理行程なども併せて詳細に指導を行った。また、開発中である担々麺の冷凍商品はふるさと納税の返礼品として活用されやすいとの提言もあったことから、PRも兼ねて認知度向上を図っていくことや展示会商談会への出展で新規顧客獲得を計画していくことなどの助言も行った。なお、自社商品のブランディング、パッケージデザイン等、今後も専門家によるアドバイスが必要だと予想されるので、随時継続して支援を行っていく予定である。

進捗・成果

現在、くまもと型小規模事業者経営発展支援事業補助金の補助事業実施期間中であるが本取組により売上拡大及び利益率の改善、集客の向上に繋がることを期待したい。



中華自動調理機



ブラストチラー&ショックフリーザー

事業者様の声

補助金の申請書類作成から経営向上力計画認定など丁寧に指導していただき本当に助かりました。
今後も色んな取組を計画しているので、また相談にのっていただきたいなと思っています。

取組の中で、おすすめしたい自社のアピールポイント

現在、新商品を開発中ではありますが、事業計画策定にあたり自社を見つめ直す良いきっかけとなりました。既存商品を含め魅力あるお店づくりを行っていきたいと考えています。

